

伊勢・三河湾流域圏におけるSDGs指標研究

中部大学 国際ESD・SDGsセンター

川村 真也

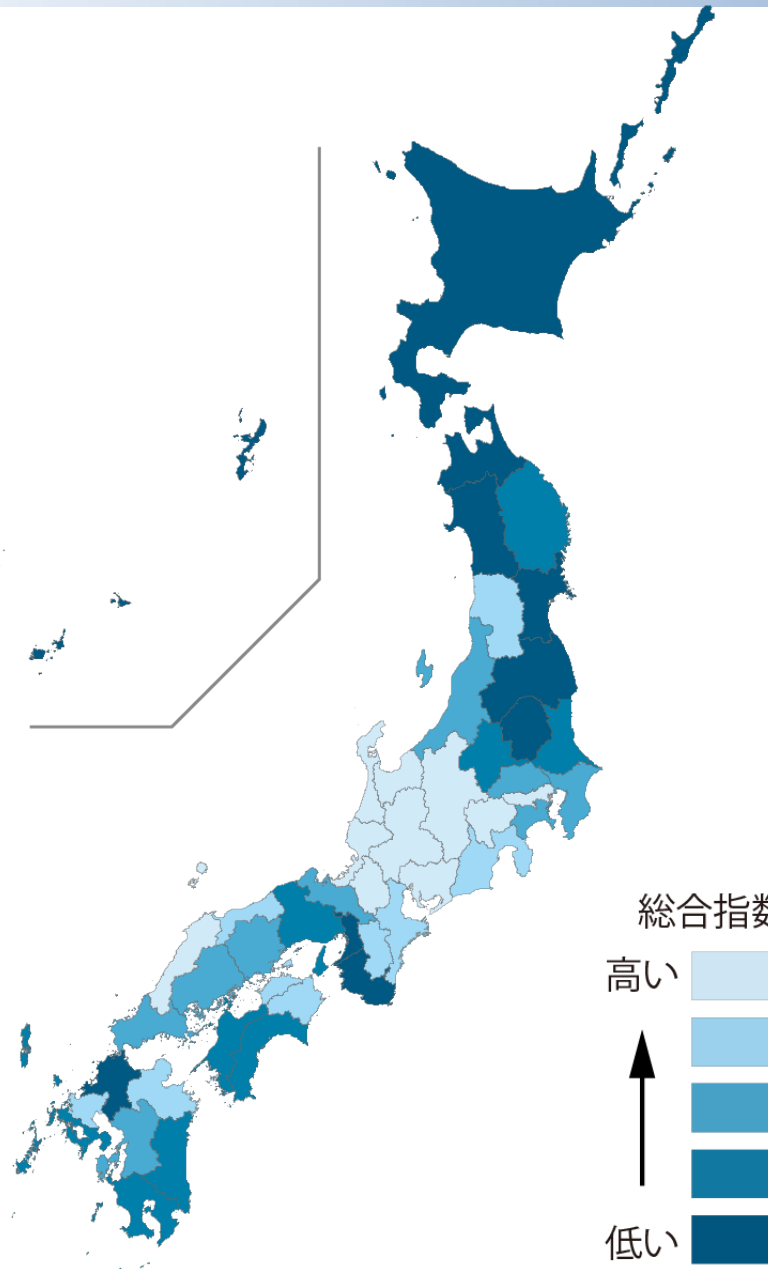
本日の発表内容

1. 日本のSDGs指標研究
2. 都道府県・市町村のSDGs指標研究
3. 伊勢・三河湾流域圏におけるSDGs指標研究

総合指数

順位(ベスト10)	都道府県	総合指数
1	福井県	0.578
2	富山県	0.568
3	長野県	0.557
4	東京都	0.548
5	石川県	0.542
6	島根県	0.542
7	山梨県	0.529
8	岐阜県	0.529
9	滋賀県	0.527
10	愛知県	0.520

順位(ワースト10)	都道府県	総合指数
1	青森県	0.394
2	沖縄県	0.405
3	宮城県	0.409
4	北海道	0.414
5	大阪府	0.425
6	和歌山県	0.440
7	福島県	0.441
8	栃木県	0.441
9	福岡県	0.447
10	秋田県	0.449



全国データ

SDGsと日本

誰も取り残されないための人間の安全保障指標

NPO法人「人間の安全保障」フォーラム(編) 高須幸雄(編著)

90 あまりの指標データから地域ごとの課題を可視化

〔生命〕自然災害の死者・行方不明者数 ほか 〔健康・保健〕一人あたり医療費 ほか 〔経済状況・労働・仕事〕非正規雇用率 ほか 〔教育〕不登校率 ほか 〔福祉〕生活保護受給率 ほか 〔生活環境、環境、安全〕バリアフリー率 ほか 〔子どもと女性〕男女の賃金格差 ほか 〔公への信頼〕人権侵害件数 ほか 〔地域社会、連帯感、国際性〕外国人居住者の増加 ほか

命指数1位 愛知県 生活指数1位 福井県 尊厳指数1位 東京都 自己充足度1位 鹿児島県 社会的連携1位 宮崎県

日本のSDGs指標研究(特定の都道府県を調べる)

- レーダーチャートの形を重視して、全国各地を見る
- 宮城県のランキングの低さ(客観データで47都道府県中45位)には、震災の影響もある
- さらに、子どもをめぐる問題(不登校、いじめなど)、女性雇用率の低さが目立つ

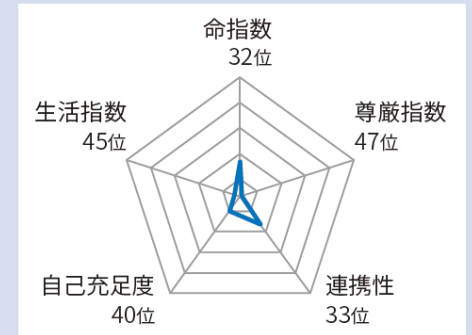
45位 宮 城

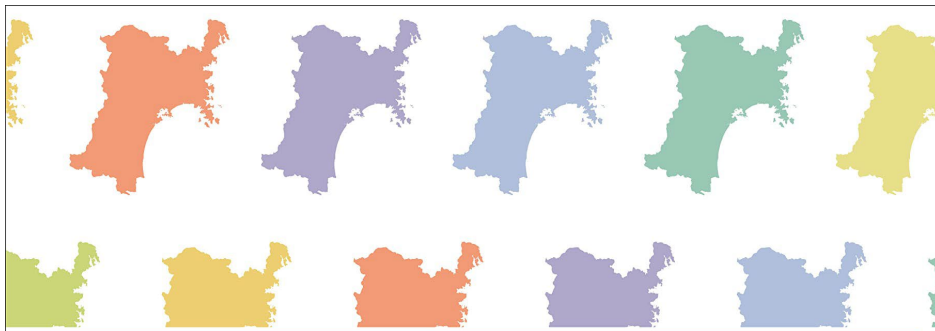
人口 231.3 万人 (14 位) 面積 7282 km² (16 位)

総評 生活指数と尊厳指数が極めて低く、主観的な自己充足度が低い。平均寿命(男性 15 位、女性 20 位)、健康寿命(男性 12 位、女性 36 位)ともに中位。健康診断率は最も高いが、出生率が低く、自殺意識率が高い。自然災害の死者・行方不明者数が最も多く、東日本大地震の被害の大きさが再認識された。生産年齢人口割合、高齢者有業率が高いが、可処分所得、女性の雇用率、障害者雇用率、高齢者有業率が極めて低い。不登校率、高校中退率が高く、いじめ件数が多く、子どもの学力の達成度が低い。児童相談件数、子どもの一時保護所受入れ日数が極めて多く、里親委託率は高いが、児童養護施設数が最も少ない。生活困窮者自立支援の相談件数も極めて多い。公共施設・上水道の耐震化率が高い。

トップクラス 健康診断受診率 (1 位)

取り組み課題 東日本大震災の被災県民が依然不安定・不自由な生活を強いられており、震災復興の促進が課題。可処分所得 (47 位)、高齢者有業率 (46 位)、女性雇用率 (42 位) の向上、不登校率、児童相談件数 (47 位)、いじめ件数 (45 位)、待機児童率 (42 位)、子どもの一時保護所受入れ日数 (44 位) の改善、児童養護施設数 (47 位) の拡充



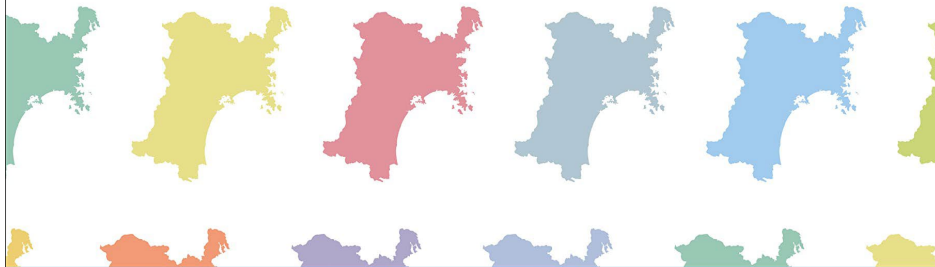


高須幸雄・峯陽一 [編著]

SDGsと地域社会

あなたのまちで人間の安全保障指標をつくろう!

宮城モデルから全国へ



人間の安全保障指標から見えてくる! あなたのまちの現状と課題

「誰も取り残されない地域社会」のための、自治体レベルでの指標作成とその手法、注目すべき取り組みを紹介

SDGsローカライズ = 「地域の事情に即したSDGs」実現に向けた知見

都道府県・市町村のSDGs指標研究

順位	市町村	指数
1	富谷市	0.608
2	利府町	0.564
3	大衡村	0.539
4	大和町	0.538
5	仙台市	0.535
6	七ヶ宿町	0.531
7	名取市	0.518
8	角田市	0.508
9	岩沼市	0.503
10	南三陸町	0.502
11	大河原町	0.495
12	登米市	0.494
12	大郷町	0.494
14	丸森町	0.488
15	栗原市	0.482
16	女川町	0.481
17	色麻町	0.473
18	白石市	0.471

順位	市町村	指数
18	川崎町	0.471
20	蔵王町	0.470
21	東松島市	0.467
22	柴田町	0.466
23	加美町	0.462
24	七ヶ浜町	0.460
25	亶理町	0.459
25	多賀城市	0.459
27	気仙沼市	0.456
27	松島町	0.456
29	塩竈市	0.446
29	石巻市	0.446
31	大崎市	0.444
32	美里町	0.443
33	山元町	0.442
34	村田町	0.440
35	涌谷町	0.423

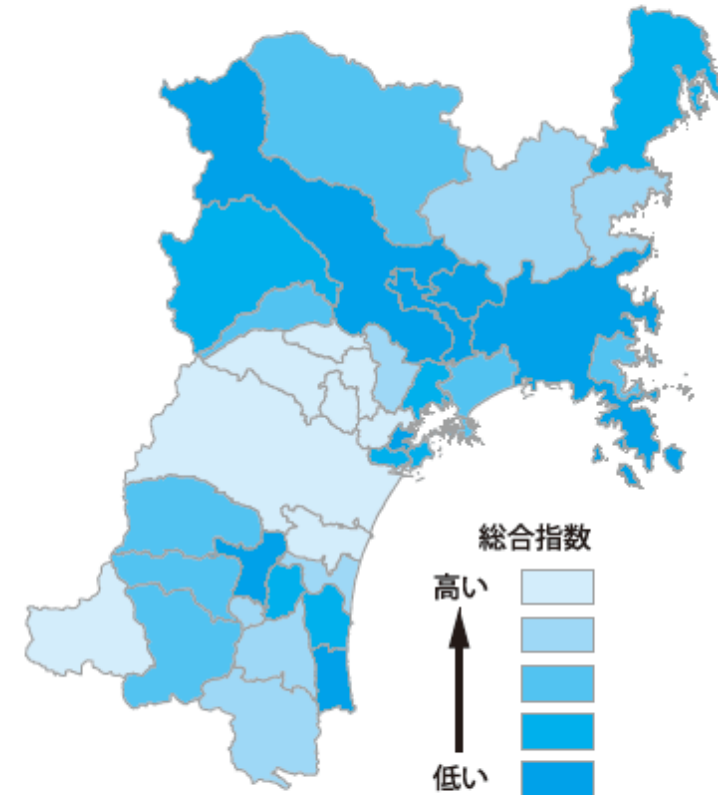
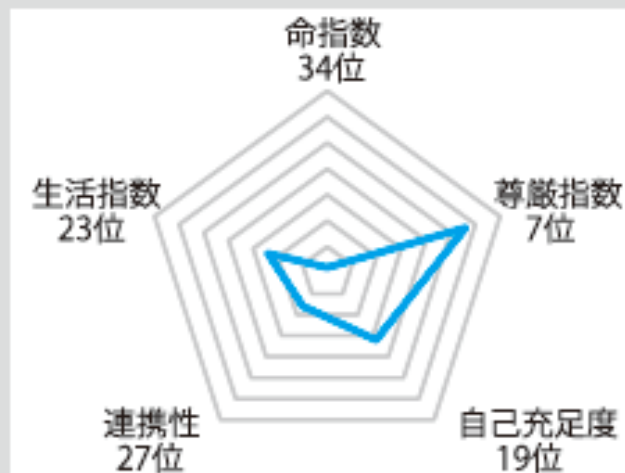


図4 宮城県民の総合指数

け せん め ま
気仙沼市

① 27位 ② 5万9316人 ③ 4万3466人 ④ 332.4 km²

総評 命指数 34位が極めて低く、生活指数 23位。尊厳指数 7位が良好。自己充足度 19位と連携性 27位も同じレベル。平均寿命（男 35位、女 31位）、健康寿命（男 28位、女 22位）は低い。自然災害による死者数、住居被害が極めて大きい。生産年齢人口、転入率が低く、高齢化率が高い。ひとり親世帯の子どもの割合が多い。低所得

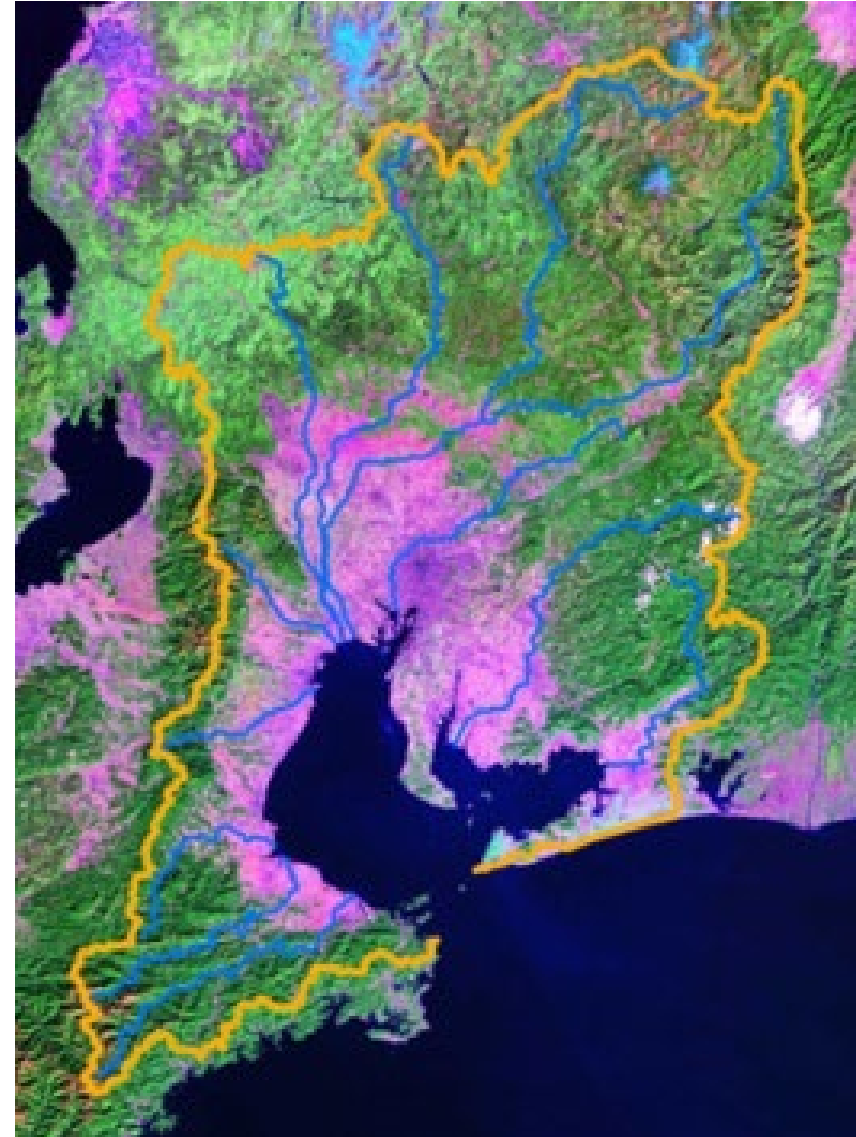


世帯の割合、国民年金保険料の全額免除が多い。女性の就業者割合が低い。ESD教育を率先。不登校数を発表して対策を強化。児童相談件数が多く、特養施設入所希望者の割合は高い。汚水処理率は低い。消防団員の充足率、防災拠点の公共施設の耐震率は低い。男女共同参画の推進、女性管理職の割合は良好だが、女性議員が少ない。移住定住の魅力の発信力が高い。技能実習生が多い。

総合計画とSDGsの関係 「世界へつながる豊かなローカル」を理念に、SDGsをとりいれたまちづくり構想。SDGsを梃子に社会を変革する視点、尊厳の視点はまだ弱い。

優先課題 健康寿命、移住定住の促進、高齢化率、経済の活性化、女性の雇用機会、公共施設の耐震率、汚水処理率、子どもの居場所

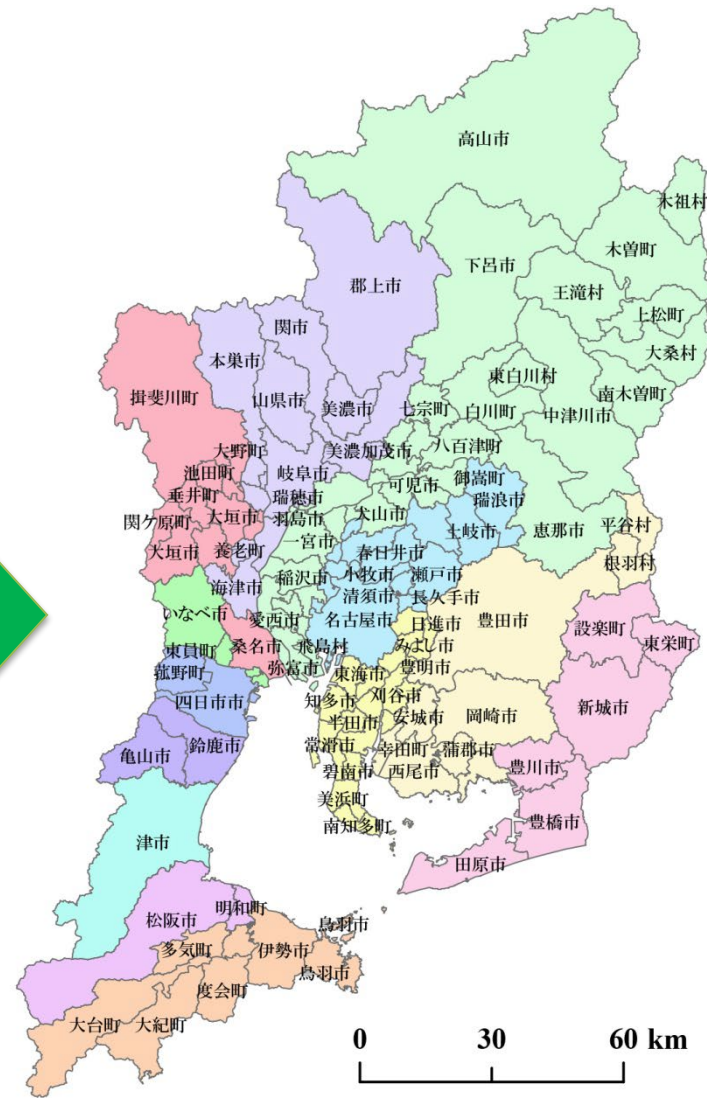
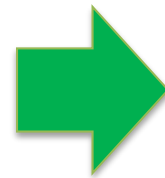
伊勢・三河湾流域圏におけるSDGs指標研究





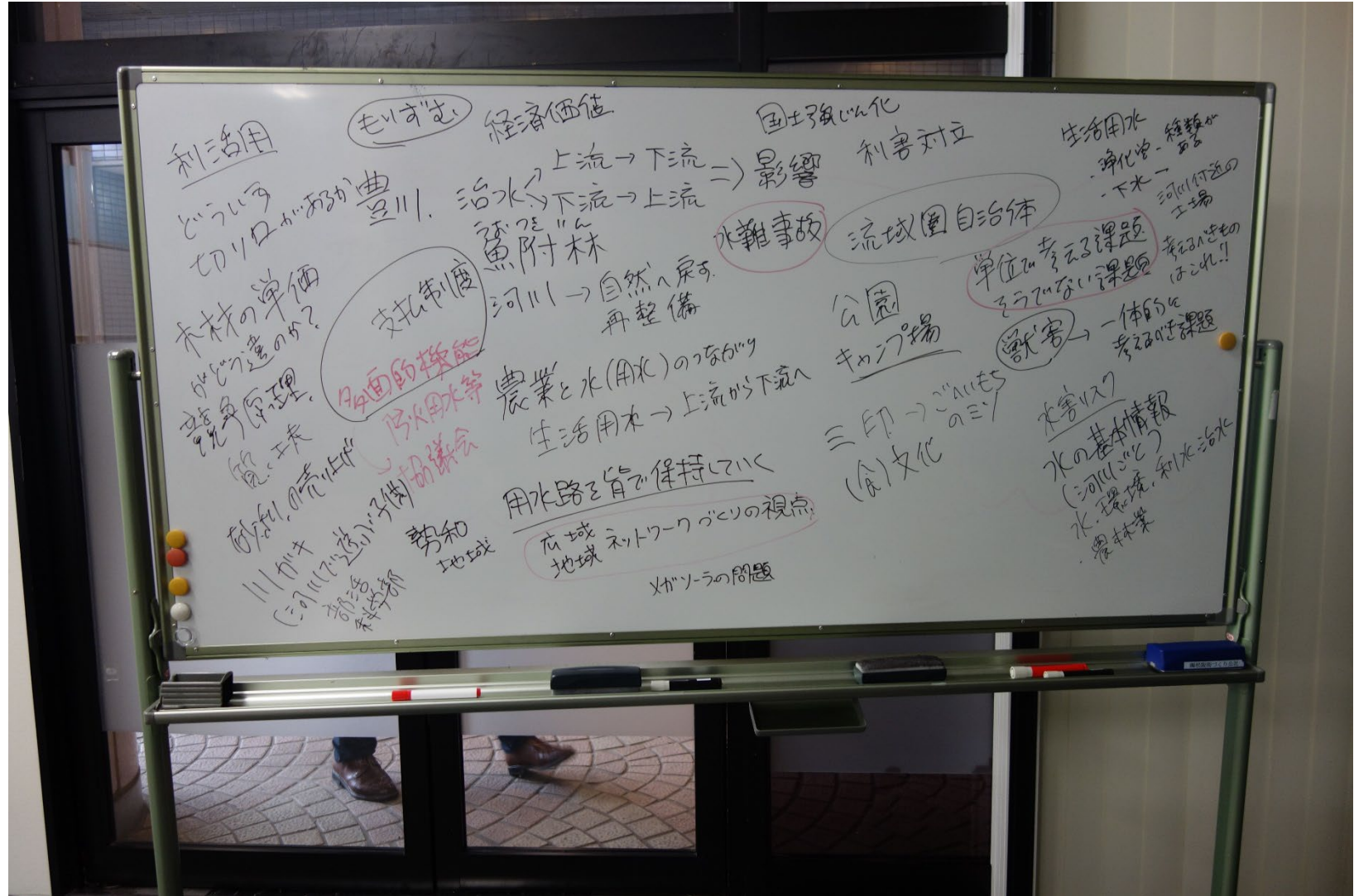
伊勢・三河湾に注ぐ主要河川流域

国土数値情報「流域界・非集水域第1.1版」より作成



流域圏自治体

ステークホルダー対話ワークショップ開催(2023年2月7日)



利活用
 いろいろ
 切り口がある
 曲
 川
 治水 → 上流 → 下流 ⇒ 影響
 下流 → 上流
 治水
 魚
 附
 林
 河川 → 自然へ戻す
 再整備
 国土強靱化
 利害対立
 生活用水
 浄化槽
 下水 → 河川付近の
 工場
 流域圏自治体
 水害事故
 単位の課題
 考える課題
 考える課題
 考える課題
 一体的に
 考える課題
 公園
 キャンプ場
 三印 → 三印の三印
 (倉)文化
 水害リスク
 水の基本情報
 (河川)と
 水環境・利水治水
 農林業
 水利制度
 多面的機能
 水利用等
 農業と水(用水)のつながり
 生活用水 → 上流から下流へ
 用水路を旨に保持していく
 広域ネットワークの視点
 Xカンパニーの問題

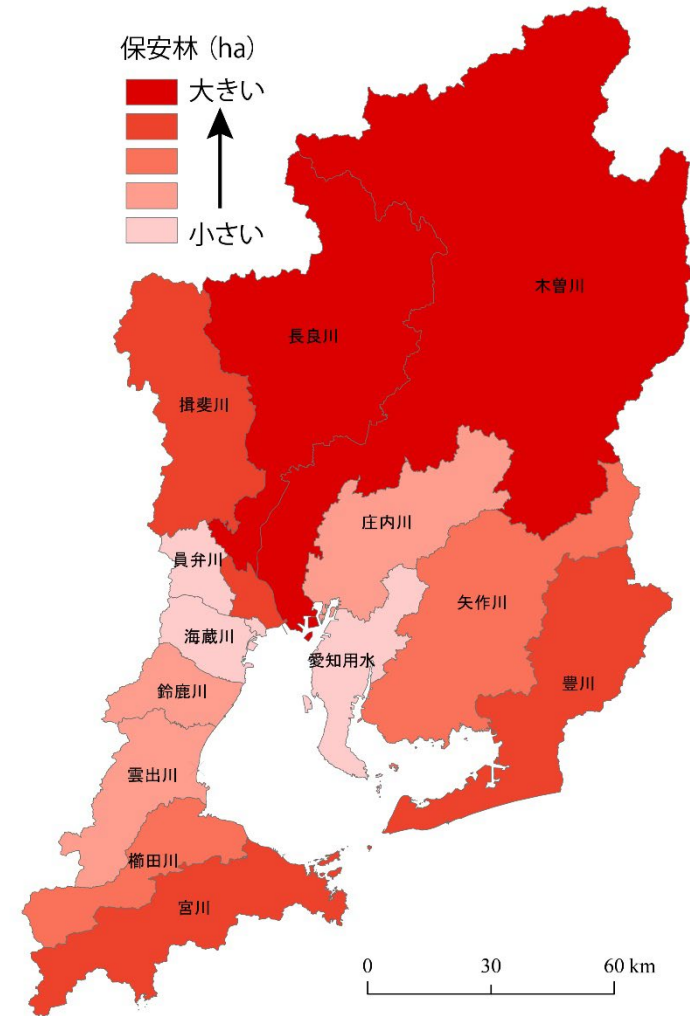
地域対話(ワークショップ)の成果と課題分析および考察

提示された課題

- 【1】 対象とする課題の妥当性
- 【2】 流域圏自治体概念の定義
- 【3】 SDGsローカル指標の選定

SDGsローカル指標の選定

流域圏名	保安林 (面積 ha)	(うち魚つき林 ha)
木曾川	210919	92
長良川	82889	17
揖斐川	52442	6
宮川	33553	0
豊川	29989	55
矢作川	24671	1
櫛田川	16658	0
庄内川	14504	0
雲出川	11448	0
鈴鹿川	5849	0
員弁川	5486	0
海蔵川	3933	0
愛知用水	770	8



伊勢・三河湾流域圏の保安林 (2020年度)
 長野県、岐阜県、愛知県、三重県の治山課調べ